

令和4年度 第1回 宇部市地域自立支援協議会 会議録

日 時:令和4年9月22日(木)18:00~19:30

場 所:宇部市役所 3階会議室

出席者:委員16名(欠席者2名)、市8名

1 報 告

(1)障害者虐待防止法における相談件数等の報告 (資料 1)

■意見および質疑応答 なし

(2)障害者等地域支援ブロック会議等の報告 (資料 2)

■意見および質疑応答

- ・会議内容で防災に関する内容もあったようだが、先日の台風14号の際、障害者の避難状況が分かれば知りたい。
- (委員)一つの地区しか分からないが、ふれあいセンターに避難された方は30名程度おられた。大半がご高齢者。障害のある人はいなかった。避難された人のほとんどが車で来られた。隣の地区のふれあいセンターも30人程度避難されたと聞いている。今後も避難所担当の地域福祉課を含めて災害時に地域の中でどのような対応ができるのか、自主防災含め引き続き取り組みが必要と感じている。
- ・高齢者とはまた違う特性のある障害者が安心して避難することができる福祉避難所についても課題があると感じている。
- ・障害のある人が夜間過ごす場所で、グループホームなどは支援者が不在なところもある。施設を建設する際に事業所には災害時を想定して、災害時どう対応するかを考える必要がある。併せて行政からの指導も必要と思う。

(3)「宇部市障害福祉サービス計画(第6期宇部市障害福祉計画及び第2期宇部市障害児福祉計画)」に係る実績報告 (資料 3)

■意見および質疑応答 なし

(4)宇部市の障害者等の状況など (資料 4)

■意見および質疑応答 なし

2 議 事

(1)「地域課題の最優先項目」の取り組み実績及び成果と今後の方向性 (資料 5)

<地域課題の最優先項目1>

障害者の就労 就労サービスと相談支援の連携について

■意見および質疑応答

- ・就労事業所から連絡をもらった場合、その都度相談支援事業所は動いており、以前に比べると連携は取れている。ただ、今の連携をもう少し深い連携の形にできたらよいとも思っている。

◆今後の方向性

「地域課題としては終結」が賛成多数。よって地域課題の最優先項目としては終結とし、必要な取り組みは今後も継続。

<地域課題の最優先項目 2>

精神科病院からの地域移行 地域の受け入れについて

■意見および質疑応答

- ・色々な取組は評価するが、山口県が全国で入院期間が一番長いし病床数も日本で一番多い現実があるので、まだまだ課題はある。その原因として、入院されている人が地域に出ることを不安に感じている、ということがある。退院する時だけに関わるのではなく、入院中から関わるのが大事。現状では、解決しているとは言いがたい。何をすれば解決かは即答できないが、地道な取り組み、経過が必要。
- ・地域の活動として、障害者の施設見学を実施していたが、コロナ禍によりこの3年は見学できていない。毎年見学を計画するが、結局コロナで難しいとなり実施できていない。今は見学などができていない現状だが、今後も理解を深める、知る、という意味合いで見学等を予定していき、地域での障害のある人に対する意識を高めていきたい。

◆今後の方向性

「地域課題として継続」が過半数。よって、地域課題の最優先項目として継続して検討する。

- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築については、国もすすめており、そこも含めて今後取り組むべき課題とし、地域包括ケアシステムの構築等についての勉強会等も検討していく。

<地域課題の最優先項目 3>

障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行(介護分野との連携強化) 介護保険の制度理解について

■意見および質疑応答

- ・施設利用者も高齢者の比率が高い状況において、介護保険サービスへの移行もいろいろ考えているが、なかなか繋がらないケースも多々ある状況にある。また、他市の利用者においても、介護保険関係部署との連携もなかなか難しい状況にあるので、地域課題として継続して検討する必要があると感じる。

- ・コロナ禍前は、障害福祉関係者、高齢福祉関係者を対象とした多職種ミーティングが開催され、300人程度の関係者が参加したこともあるが、コロナ禍において、そのような集まりもできておらず残念に思う。

◆今後の方向性

「地域課題として継続」が過半数。よって、地域課題の最優先項目として継続して検討する

<地域課題の最優先項目 4>

親亡き後の課題 地域生活について

■意見および質疑応答

- ・障害のある人も年齢を重ねており、保護者も60代、70代と高齢化してくる。そのような親御さんを対象に成年後見制度に関して団体などで勉強会を開催している。制度自体が分かりにくく、制度の不備も感じており、利用するのに非常に慎重になる。勉強会は今後も継続して続けていく。制度を理解するには障害者家族としても勉強が必要と感じている。家族側の関心が低いことも感じる。家族に関心を持ってもらうにはどのようにしたらよいか、講師を弁護士、社会福祉士など考えている。宇部市成年後見センターは周知されていると思う。
- ・権利擁護事業はなかなかわかりにくい制度と感じている。成年後見センターは、制度等を教えてくれる所だと認識しているので、今後のセンターの活躍を期待する。
- ・成年後見センターが開設されて2年が経過しており、申し立て件数は非常に多くなっている。制度を利用するにはお金が発生するので、市で費用の助成など、金銭面での援助があるとよい。

◆今後の方向性

「地域課題としては終結」が賛成多数。よって地域課題の最優先項目としては終結とし、必要な取り組みは今後も継続。

(2) 専門部会等の設置に関する提案（資料 6-1、6-2）

■意見および質疑応答

- ・準備会の内容を協議会に報告し、行政とともに団結して取り組んでもらいたい。
- ・専門部会等の設置は、協議会の目的達成のために前向きな仕組みだと思う。
- ・準備会の開催について、賛成多数。よって準備会を開催することし、準備会で専門部会等について協議していく。

3 その他 なし